

## 巡回日詩

0728

いま考えてみると、請求する行為によって時効を中断しない限り、たんに自分は債権者であるという位置に安住していると、ついには債権を喪失するというロジックのなかには、一民法の法理にとどまらないきわめて重大な意味がひそんでいるように思われます。（棒、この項編集者による）



↑本校定時制職員室工事中

夏季休業中も、我々の執務は続く。しかし生徒が自宅で学習しているこの期間は、校内のメンテナンスをするのに最適な時期となる。

本日から8月3日まで、定時制の職員室は工事中で、我々はやりなれない環境に移動し、執務となる。しかし、どんなものでもそうだが、現状を維持し、改善し、永続させていくことが大事だ。

工事の方々、よろしく願いいたします。

今日は、高校の現代文教科書の定番、丸山真男の「であることとすること」より引用します。